

# 地域企業の成長戦略に関するケーススタディと企業家教育

## —後志地域と先進事例の比較分析—

プロジェクト代表者：加藤 敬太

### 1. プロジェクトの目的・概要

本プロジェクトの目的は、地域企業の成長戦略のメカニズムを明らかにすると同時にその成果を地域企業家への企業家教育に活用することである。とくに本研究では、地域企業家への研究成果のフィードバックならびに企業家教育を念頭に進めていく。具体的には、後志地域の地域企業と道内ならびに道外の地域企業の先進事例の比較ケーススタディを行ったうえで、論稿等の発表ならびに学部・大学院の授業やその他講演会を通じて企業家教育を行っていく。

### 2. 具体的な取組内容

先進事例の調査・分析に関しては、当初の計画のうち、地域企業の中から最も先進事例と判断した「北海道テレビ放送」や「北海道日本ハムファイターズ」への調査・研究を中心に実施した。「北海道テレビ放送」は、地域メディアを標榜し、北海道の地域資源の再発見とその発信にいち早く取り組むテレビ局として注目に値する企業である。本プロジェクトでは、昨年度、同社の関係者15名へのインタビュー調査を実施し、インタビューデータおよび一次資料の提供を受けている。本年度では、収集されたデータの精査・分析および研究成果として論文の執筆・公表に努めた。加えて、地域密着型のプロ野球球団経営でSports Communityの実現を目指す「北海道日本ハムファイターズ」に関しては、学生とともに同社のミドル社員に対するインタビュー調査が実施された。既にデータの精査・分析が完了し、論稿や講演会のケーススタディとして研究成果を公表した。

また、地域への還元としては、これまでの研究成果を受けて複数の論稿を執筆した他、地域の企業家向けの講演会などで講演を実施した。論稿は、『ほくとう総研情報雑誌 NETT』、『商工金融』に掲載された。これらの雑誌は、地域の中小企業や地域の自立的・持続的発展に貢献することを目的に発行されており、今回の論稿掲載は研究成果の地域還元として大きな効果が期待できる。また、講演は、北洋銀行や北海道中小企業同友会主催の講演会において、これまで調査・分析を行ってきた企業のケーススタディを中心に、地域企業の成長戦略や組織づくりについての指針を示した。

以上のように、本年度は、事例の本格的な調査・分析に加えて研究成果の公表に努めた。

### 3. プロジェクトの成果及び地域への還元

研究成果は下記の通りである。なお、地域への還元は論稿等を通じて行われた。

#### 【学会報告】

笹本香菜「企業組織におけるドメインの深化に関する研究」日本経営学会北海道部会、北海道(北海学園大学)、2016年7月23日。

#### 【講演会】

加藤敬太「老舗企業の100年経営の経営学—価値創造の組織づくり—」北洋銀行札幌南はまなすクラブ講演会、2016年5月26日。

加藤敬太「発想の経営学—税理士とクライアントの新たなつながり—」北海道税理士会札幌西支部研修会、2016年6月3日。

加藤敬太「価値創造の企業経営—経営学の基本と企業経営の本質—」北海道中小企業家同友会とかち支部中堅幹部学校、2017年2月3日。

加藤敬太「発想の経営学—価値創造の組織創り—」札幌西間税会、2017年2月22日。

#### 【論文】

加藤敬太・笹本香菜(2016)「北海道テレビ放送におけるドメイン戦略—地方テレビ局から地域メディアへの転換とドメイン・コンセンサス—」『経済論叢』(京都大学)第190巻, 第2号, pp.19-38。

#### 【論稿】

加藤敬太(2016)「老舗の経営学」『ほくとう総研情報雑誌 NETT』第92号, pp.14-17。

加藤敬太(2017)「地域企業の創造的活動と地域オープン・イノベーション」『商工金融』第67巻, 第1号, pp.67-68。